

International Education

国際教育

第 10 号

千葉大学国際教育センター
2017年 3 月

『国際教育』第10号
千葉大学国際教育センター紀要
2017年3月

目次

新倉涼子先生を送る	見城 悌治	1
 研究ノート		
Academic freedom despite contingency: Working under the supervision of Professor Ryōko Niikura (有期雇用教員における学問の自由—新倉涼子教授のもとに働く—)		
GAITANIDIS Ioannis (ガイタニディス・ヤニス)		7
 アイデンティティと協働性：空間と言語がつくる境目と境界線の身体化		
	小林 聡子	21
 報告		
日韓共同理工系学部留学生のフォローアップ調査 —千葉大学に配置された第1次第1期生～第2次第6期生を対象に—		
	佐藤 尚子	39
短期交換留学プログラム参加者に対するフォローアップ調査 —日本語を専攻する中国からの元交換留学生へのインタビュー調査—		
	吉野 文	49
「言語文化交流演習」 —留学生の言語的・文化的背景を生かした言語教育の取り組み—		
	西住 奏子	65
千葉大学ユニバーサルフェスティバル 50 回のあゆみ		
	見城 悌治	73
短期留学生を対象とした日本語の授業の現状と課題 —東洋学園大学におけるサマースクールを事例として—		
	山本 博子・依田 悠介・奥 真裕	111
 『国際教育』総目次（第1号～第10号）		
		123
執筆者一覧		
		127

International Education No10

Contents

Homage to Professor Ryoko Niikura

Teiji Kenjo 1

Academic freedom despite contingency: Working under the supervision of Professor Ryōko Niikura

Ioannis Gaitanidis 7

Identity and Collaborativity: Embodiment of a border and a boundary space and language reshape

Satoko Kobayashi 21

Japan-Korea Joint Program for Science & Engineering Students Follow-up Survey of 2000-2015 Students

Naoko Sato 39

Follow-up research on former exchange program participants: A case study of a group interview with Chinese students whose major was Japanese

Aya Yoshino 49

“Language and Culture Exchange” – International students’ awareness through teaching their own language and culture

Kanako Nishizumi 65

The 50th Universal Festival: Chiba University’s Universal Festivals in Retrospection

Teiji Kenjo 73

Current status and issues of Japanese language classes for short-term international exchange students : A case study of a summer school at Tokyo Gakuen University

Hiroko Yamamoto • Yusuke Yoda • Masahiro Oku 111

Authors of this volume 127

『国際教育』第10号 執筆者一覧

見城 悌治	国際教養学部准教授 (国際教育センター兼務教員)
ガイタニディス ヤニス	国際教養学部助教 (国際教育センター兼務教員)
小林 聡子	国際教養学部助教 (国際教育センター兼務教員)
佐藤 尚子	国際教養学部准教授 (国際教育センター兼務教員)
吉野 文	国際教養学部准教授 (国際教育センター兼務教員)
西住 奏子	国際教養学部講師 (国際教育センター兼務教員)
山本 博子	東洋学園大学専任講師、千葉大学非常勤講師
依田 悠介	東洋学園大学専任講師
奥 真裕	東洋学園大学非常勤講師

【編集後記】

部局としての千葉大学国際教育センターは、2015 年度末をもって廃止され、所属教員は、2016 年 4 月に新設された「国際教養学部」に配置換えされることとなった。しかし、留学生に関する教育などが不要になるものではないため、同年 4 月に大学に設けられた新しい組織「国際未来教育基幹」のキャビネットに、「全学教育センター」「キャリアセンター」など 6 つのセンターの一つとして、新「国際教育センター」が再スタートを切った。そこには専任教員はおらず、旧国際教育センター教員などが、「兼務教員」となり、業務を継続していくことになる。

本『国際教育』誌は、1993 年発行の『千葉大学留学生センター雑誌』に淵源を持ち、『千葉大学留学生センター紀要』(1994～2003 年度)、『人文と教育』(2004～05 年度)を経て、2006 年度から発行されてきたものである。しかし、上記の組織改革にともない、本誌は 10 号をもって休止することとなる。これまでの各誌に掲載された諸論考が、留学生教育、国際理解教育、日本語教育等に今後も活かされ続けることを祈念するとともに、それらを糧として千葉大学の教育の充実と発展に一層努めていきたいと考えている。

『国際教育』第10号 (2017年3月31日発行)

編集・発行 千葉大学国際教育センター

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

電話 043-290-2197